

国民年金事業

推進協議会が誕生

国民年金保険料収納員会議が4月16日、中央公民館で開かれ、昭和60年度の保険料の収納等について協議されました。

その席上、収納員は、保険料を集金するのが目的であるが、ときには年金の制度などを聞かれる場合がある。また、収納員同志の名前すら知らない。そのようなことをふまえて、町で収納員の組織を作って、年金制度の研修や収納成績の向上を考えられないか」という積極的な発案があり、協議の結果、横芝町国民年金事業推進協議会が誕生しました。

③ 広報よこしば

協議会の構成は、国民年金地域収納員85人、国民年金普及指導委員10人から成り、会長に瀬利忠作さん（本町）、副会長には川島信二さん（北清水西）、平山義明さん（小堤）がそれぞれ選任されました。

ここで、町の国民年金事業の状況やしきみなどにふれてみたいと思います。

町の状況

被保険者数は昭和60年4月現在で4,765人です。昨年度に納められた保険料は約三億一千万円、収納率は約96パーセントで、郡内では下位となっています。

また、受給状態は一般の拠出年金受給者が1,291人、明治44年4月1日以前生れの方を中心とした福祉年金受給者は578人、合わせて1,869人で、年間約六億七千万円が受給されており、お年寄りや障害を持つ方々の貴重な生活の支えになっています。

制度のしくみ

個人の年金額は、保険料を納めた月数、納付免除を受けた月数によってそれぞれ異なりますが、老齢年金を受けるためには、60歳までに最低25年（3000月）加入（生年月日より短縮あり）し、保険料を納付（または免除を

年金是非論

■あるお年寄りの話
「長い間、会社勤めをし、毎月の給料から天引きされる多額の厚生年金保険料に腹が立ったものですが、働けなくなった今、この歳で、もう年金のお陰で、ばあさんと何不自由なく生活できます。アリガタイ」

■20歳になったある青年は
「20歳になったから国民年金に加入しろといったって、これから40年先がわかるかヨ。死ん



年金は豊かな老後の支え

受ける）しなければなりません。したがって、この年数（月数）が不足しますと、将来、老齢年金の受給の権利を失います。

国民年金は、農林漁業等自営業者で、他の年金に加入していない、20歳から59歳までの方は加入しなければなりません。しかし、当町では現在、147人の方が未加入です。

■もう一人のある青年は
「俺は働ける時にどんどん働いて保険料を納めるよ。その保険料が家のジイさん・バアさんの小使いとして返ってくるし、俺が歳をとったら若い人の保険料をもらうんだ。生命保険？俺が死んだ後の家族のためにももちろん入っているよ」

人、それぞれ考え方は違いますが、あなたはどう思いますか。

年金の相談に普及指導委員

国民年金制度の普及推進を目的に次の方々が指導委員として活躍されています。国民年金についての疑問な点や悩みごとがあれば、遠慮なくご相談ください。

氏名	住所	電話	担当地域
萩原 清二	寺方	2-0518	大総全域
本間 重寿	上町	2-0739	上町
島田 繁	古川	2-0795	本町・古川・両国新田
藤井 英明	東町	2-0640	東町
澤田 弘	栗山	2-4606	栗山 (橋本・伸和会・青芝会・東ヶ丘・TCC・四五会・東四六会・みどり台・新生会・すみれ団地)
加藤 信慶	栗山	2-5577	栗山 (第1・第2・第3・第4 東部・宮脇)
鈴木道太郎	栗山	2-4072	栗山南部1・南部2
越川 孝一	鳥喰下	2-5002	鳥喰
浅野 清	入間	2-3206	北清水・新島
実川 豊次	立会	2-2643	屋形

国民年金普及指導委員

期待される 今後の活動

「老齢・障害・死亡によって国民生活の安定がそこなわれることを、国民の共同連帯によって防止し……」という国民年金法の目的にそって発足、スタートしたのが推進協議会です。国民年金未加入者や保険料未納の解消をめざし、地道に活動してゆくこの会に、みなさんのご協力をお願いします。